ネッツトヨタ三重&つぅぴーす編集室 presents

部活応援隊が行く!!

高田高等学校 放送部編

番組づくりを通じて、社会を学ぶ

高田高等学校 放送部

ラジオ・テレビの番組や朗読、アナウンスを通して、社会との関わりを育み、日本語の美しい表現を追求する高田高校放送部。視覚障がいのある選手のガイドランナーを体験した高校生を描いた作品は、今年のNHK杯全国高校放送コンテストテレビドキュメント部門で準優勝を獲得しました。

部長 中尾 美咲さん（なかお みさき）

Q1 部活の魅力は？

A1（中尾さん）インタビューやアナウンス、朗読など、通常では経験できないことを学べることです。

Q2 部長として心がけていることは？

A2（中尾さん）あまり指示を出すのが得意でないですが、できる限り頼りやすい存在であることと、楽しい雰囲気づくりを心がけています。

Q3 放送部の強みは？

A3（中尾さん）一緒に行動することによる絆の深さや団結力、仲の良さです。

Q4 今後の目標は？

A4（中尾さん）第71回NHK杯全国高校放送コンテストのテレビドキュメント部門で、私たちの作品『わたしはしる』が準優勝を頂くことができたので、来年は優勝を狙いたいですし、別の部門でも好成績を収めたいです。毎年作品の提出が締切ギリギリになることが多いので、もっと計画的にできるように意識していきたいです。

Q5 部活を通じて生徒さんに学んでほしいことは？

A5（川村先生）番組テーマは生徒たちで決めており、近年はパラ陸上やトランスジェンダーの方を取り上げました。番組づくりを通して、社会と関わりながら学校では学べない新しいことを学んでほしいです。視覚障がい者と併走する高校生ガイドランナーが題材の『わたしはしる』では、視覚障がい者の方との交流が生まれました。

二次元コードを読み取ると放送部のコメントが見られます。

顧問 川村 俊介先生

Q6 今の放送部の課題は？

A6（川村先生）制作の部門では全国大会でも入賞できるようになってきたので、アナウンス部門や朗読部門の力もつけていきたいです。

Q7 部活を通じて、これから先生が取り組んでいきたいことは？

A7（川村先生）番組で取り上げた社会問題に対して、自分たちでもアクションを起こしていけるようになってほしいです。

ネッツトヨタ三重はスポーツ・文化活動で頑張る団体さんの広報活動を応援します！